

社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

# 平成 30 年度事業報告書

(自) 平成 30 年 4 月 1 日 (至) 平成 31 年 3 月 31 日



真庭市社協マスコットキャラクター 「社協のきょうちゃん」

社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

# 理念

## 1 基本理念

すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

## 2 経営理念

- 住民主体の地域福祉を推進します。
- 適切で質の高いサービスを提供します。
- 経営体質を強化し、人財を育成します。

## 3 行動マインド

- 理想と誇りを持って地域福祉を進めます。
- 利用者本位で心のこもったサービスを提供します。
- 法令を遵守し、高い倫理観を持って行動します。
- 組織目標を共有し、経営能力を高めます。
- 職員としての一体感を高め、相互に協力します。

## I 事業概要

少子高齢、人口減少社会の進行などにより、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、子育てや介護、社会的孤立の問題、貧困や権利擁護の問題等、地域における生活課題は多様化し、世帯に1つではなく、多様な問題を重複して抱えるものとなっています。

また自然災害発生への危機管理も重要であります。特に、平成30年7月豪雨では、県内に未曾有の災害をもたらしました。本会では被災地へ6ヵ月に亘る災害支援を実施しました。

このような状況の中、本会の基本理念「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し、経営理念、行動マインドを実現するため各事業に取り組んで参りました。

基本計画である「第3次地域福祉活動計画」を基に事業を推進しました。

小地域福祉活動の推進については、「アウトリーチ活動」、「地域助けあい事業」に重点を置き地区社協活動の推進、福祉委員の役割の理解・活動支援他、地域福祉の充実を図りました。

介護事業については、質の高いサービス提供と経営体質改善を目指し業務改善に取り組みました。しかし、職員の確保は非常に厳しく大きな課題となっています。

経営体質改善として、中期経営計画を推進し、自主財源の確保に努め、市民から寄せられた社協会費や善意の寄付金、共同募金の活用について、善意銀行運営委員会や基金運営委員会等で協議して有効活用を図りました。

職員の資質向上については、本会の経営方針のもと、職員が年間の各部門計画・個人目標を掲げて業務にあたることにより、組織の目標達成に向けた体制づくり、人財育成に取り組みました。

以下、分野ごとに事業内容を報告します。

## II 重点事業

真庭市社会福祉協議会の理念に基づき、すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざして、質の高い福祉サービスの提供と、住民主体の地域福祉を推進するため、平成30年度は、次の事業に重点をおき実施しました。

### 1 社会福祉事業会計

#### (1) 真庭市との連携

##### 【目標】

地域福祉の推進及び個別具体的に必要な福祉事業の提供のため、職員及び事業用資産の確保に資する真庭市の支援を得ながら、専門性の向上とともにさらなる地域福祉活動の活性化と、真庭市福祉行政及び施策への参加・協力を行っていきます。また、真庭市内の介護保険サービスの提供体制の確保のために介護保険サービス提供事業者としての充実を図り、障がい者総合支援サービスや新総合事業などの真庭市事業の受託による福祉サービスの提供に努めていきます。

さらに、真庭市へ真庭市社会福祉協議会の実施事業に対する理解を得る働きかけと、地域福祉推進に向けた体制の整備を図るため真庭市と協議します。

##### 【実績】

事業推進のための、人員の財源確保や事業推進について協議を重ねました。  
また、真庭市健康福祉部各課と情報共有連携を深めました。

#### (2) 地域助けあい事業の推進

##### 【目標】

地区社協と連携した見守り活動や福祉課題の早期発見のため、全地区社協で年2回助けあい会議を開催します。

助けあい会議で助けあいマップの作成を通して、要援護世帯を把握し、住民による見守り活動の実施や福祉活動専門員による積極的な「アウトリーチ活動」を行い、関係機関と連携し困りごとを抱えた方へ適切な支援を行います。

また、高齢者世帯だけでなく障がいを持った方や子育てに悩んでいる方等も含め地域で見守り活動を行います。

##### 【実績】

地域助けあい事業推進に向け、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を全34地区社協で延べ64回開催し、助けあいマップ作成を通して、見守り体制の整備や支援が必要な方への見守り活動を行いました。また、福祉活動専門員によるアウトリーチ活動により支援が必要な方へ積極的に関わりました。

#### (3) 社会福祉法人の公益的な取り組みネットワークの構築

##### 【目標】

社会福祉法の改正により、社会福祉法人に地域貢献として「地域における公益的な取り組み」が責務として位置づけられ、制度の狭間の課題に対しての取り組みが求められることとなります。市内の社会福祉法人が連携して、効率的・効果的に取り組むためのネットワークを構築し、公益的な事業を協議・検討します。

##### 【実績】

真庭地域の12社会福祉法人（15事業所）が月1回の情報共有と協議を重ね、平成30

年8月に「まにわささえ愛ネット」を設立して、「ものバンク」事業の取り組みを開始しました。

#### (4) 人財育成への取り組み

##### 【目標】

職員の人財育成と人財確保に向け資格取得支援などの取り組みを検討し、実施します。

##### 【実績】

介護の資格取得支援の取り組みを実施しました。また、介護支援専門員の更新研修・研修会参加への支援を見直しました。

#### (5) 部署間連携の強化

##### 【目標】

真庭市社会福祉協議会の各部署間の事業連携・情報共有を徹底するため、定例会の開催等、オール真庭市社協で地域福祉を推進するため、職員の一体感の醸成にさらに取り組みます。

##### 【実績】

職員研修会と毎月の支所長・施設長会議、事業所会議や、職員交流事業をとおして連携強化や情報の共有を図り事業推進しました。次年度も継続して取り組みます。

### Ⅲ 事業実施項目

#### 1 法人運営

##### (1) 組織運営

##### 【目標】

地域福祉推進体制の充実及び各種事業のサービス提供体制の充実を目指します。また、職員の専門性の向上を図るため、研修体制の充実に取り組みます。

##### ① 理事会

##### 【目標】

開催目標 5回(平成29年度実績 5回)

役員研修会の実施、責任体制の明確化、委員会組織の活性化

##### 【実績】

##### ●第1回理事会

日 時 平成30年5月24日(木)13:30～

場 所 落合老人福祉センター

出席者 理事13名・監事2名 事務局長他

協議事項 平成29年度事業報告、会計決算、監査報告について  
定時評議員会に諮る役員候補者について他

##### ●第2回理事会

日 時 平成30年9月26日(水)13:30～

場 所 久世公民館

出席者 理事11名・監事2名 事務局長他  
協議事項 定款の一部改正について  
平成30年度第1次補正予算について他

●第3回理事会

日時 平成30年12月17日(月)15:00～  
場所 久世公民館  
出席者 理事10名・監事2名 事務局長他  
協議事項 規程の一部改正について他

●第4回理事会

日時 平成31年3月15日(金)13:30～  
場所 久世公民館  
出席者 理事10名・監事1名 事務局長他  
協議事項 平成30年度最終補正予算について  
2019年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

② 監事会 (監査)

【目標】

開催目標3回  
役員研修会の実施

【実績】

監事監査3回 内部監査1回

●平成29年度決算監査

日時 平成30年5月14日(月)9:30～  
場所 久世保健福祉会館 社協会長室  
内容 平成29年度事業及び一般会計・特別会計・財産目録の監査  
出席者 監事 西谷 友行、大美 康雄

●平成30年度随時監査(第1回)

日時 平成30年11月20日(火)9:30～  
場所 久世保健福祉会館 社協会長室  
内容 平成30年4月～9月末までの監査他  
出席者 監事 西谷 友行

●平成30年度随時監査(第2回)

日時 平成31年2月20日(水)9:30～  
場所 久世保健福祉会館 社協会長室  
内容 平成30年10月～12月末までの監査他  
出席者 監事 西谷 友行、大美 康雄

●平成30年度内部監査

日 時 平成30年12月～平成31年1月  
場 所 本所・全支所  
内 容 小口現金、各種団体会計、支所施設預金通帳、共同募金通帳、  
歳末たすけあい通帳、日常生活自立支援事業保管品、  
法人後見事業保管品、やすらぎ入所者保管品、  
金庫内保管品等の内部監査  
実 施 者 事務局長、西田次長、佐藤参事

③ 評議員会

【目標】

開催目標5回(平成29年度実績3回)

研修会の実施

【実績】

●第1回評議員会

日 時 平成30年6月15日(金)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員15名 会長・副会長・監事・事務局長他  
協議事項 平成29年度事業報告、会計決算、監査報告について他

●第2回評議員会

日 時 平成30年10月4日(木)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員16名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 定款の一部改正について  
平成30年度第1次補正予算について他

●第3回評議員会

日 時 平成31年1月16日(水)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員14名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 規程の一部改正について他

●第4回評議員会

日 時 平成31年3月26日(火)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員14名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 平成30年度最終補正予算について  
2019年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

④ 業績検討会

【目標】

役職員による介護事業及び地域福祉事業の業績検討会を実施します。

**【実績】**

三役会で業績検討の実施

三役会議（久世保健福祉会館）

第1回 平成30年 5月16日(水) 第2回 平成30年 9月19日(水)

第3回 平成31年 3月 6日(水)

⑤ 人財育成を目的とした人事評価制度の実施

**【目標】**

真庭市社会福祉協議会の理念と、行動マインドの実践や職員の経営参画意識を高めるため、各部門計画・個人目標を掲げ業務にあたることにより、目標達成に向けた意識の向上を図り、人財の育成を目的に人事評価を実施します。

**【実績】**

各部門目標、個人目標を設定して業務にあたりました。特に面接を丁寧に実施し、フィードバックをしながら人財育成に取り組みました。

⑥ 財務管理委員会

第1回 平成31年3月1日(木) 久世公民館

協議事項 平成31年度地域福祉活動団体助成審査他

⑦ 基金運営委員会

地域福祉活動基金は、多様化する住民の福祉ニーズに対し、福祉事業の安定的な発展を図ることを目的として設置され、地域福祉活動基金設置運営規程第4条第2項の規定により本委員会において適正に運営を行いました。

第1回 平成31年3月15日(金) 久世公民館

協議事項 平成31年度基金利息予算額と事業計画他

⑧ 善意銀行運営委員会

広く人々の善意の預託を受け、これを効果的に社会に還元し、もって福祉の増進を図ることを目的とする善意銀行の適正な運営のため、運営に関する事項を協議しました。

第1回 平成31年3月15日(金) 久世公民館

協議事項 平成31年度予算額と事業計画他

⑨ 試験委員会

正職員採用試験において、公平・公正の確保、客観的な評価、適正な人財の採用等のため本委員会を開催しました。

第1回 平成30年 6月15日(金) 久世保健福祉会館 正職員採用面接試験選考

第2回 平成30年 8月30日(木) 久世保健福祉会館 常勤職員面接試験選考

第3回 平成31年 3月 6日(水) 久世保健福祉会館 常勤職員面接試験選考

⑩ 給与見直し委員会

現行の給与規程について、運用上の課題を整理し、公正・適正な処遇となるよう協議を進めました。



- 第1回 平成30年 6月21日(木) 久世公民館  
第2回 平成30年 9月14日(金) 久世公民館  
第3回 平成30年 9月20日(木) 久世公民館

⑪ 表彰審査会

多年にわたり地域福祉の向上に携わり、その功績が顕著な者及び団体に対して本会会長から表彰状又は感謝状及び記念品を贈呈するにあたり、本会表彰規程に基づき、公平・公正な審査により被表彰者の選考を行い、会長に答申しました。

第1回 平成30年11月12日(月) 久世保健福祉会館 会長表彰審査

⑫ 地域密着型介護老人福祉施設 やすらぎ運営推進会議

やすらぎ運営推進会議は、地域密着型介護老人福祉施設やすらぎでの施設サービスを地域住民に報告し、意見、要望、助言等を受け、施設運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。このために、利用者、利用者の家族、真庭市職員、地域福祉推進委員、地域住民の代表者等と2か月毎に開催しました。

- 第1回 平成30年 5月 9日(水) 湯原保健福祉センター  
第2回 平成30年 7月11日(水) 湯原保健福祉センター  
第3回 平成30年 9月12日(水) 湯原保健福祉センター  
第4回 平成30年11月14日(水) 湯原保健福祉センター  
第5回 平成31年 1月 9日(水) 湯原保健福祉センター  
第6回 平成31年 3月13日(水) 湯原保健福祉センター

⑬ 地域密着型通所介護事業所運営推進会議

地域住民の意見、要望、助言等を受け、事業運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。委員会は、年2回開催しました。

- 第1回 平成30年 5月 9日(水) 湯原保健福祉センター  
第2回 平成30年11月14日(水) 湯原保健福祉センター

⑭ 社会福祉大会実行委員会

- 第1回 平成30年 7月23日(月) 久世公民館  
第2回 平成30年 9月27日(木) 久世公民館  
第3回 平成30年11月12日(月) 久世公民館

⑮ 研修会

ア 人事管理制度研修会

日時 平成30年 6月 5日(火) 18:30～

64人参加

場所 久世公民館

内容 (1) 目標管理の意義と目標設定の手順・注意点  
(2) 目標管理における上司の役割

講師 (株)経営開発センター 代表取締役社長 野崎悦雄氏

イ 職員研修会

日時 平成30年 8月 2日(木) 10:00～ 30人参加  
 平成30年 8月 2日(木) 13:00～ 24人参加  
 場所 勝山文化センター  
 内容 気持ちよく働くためのマナー講座  
 講師 人材定着支援アドバイザー 特定社会保険労務士 佐藤起世子氏

ウ 交通安全講習会

日時 平成30年 10月 22日(月) 18:00～ 落合老人福祉センター 70人参加  
 場所 平成30年 10月 23日(火) 18:00～ 湯原保健福祉センター 42人参加  
 内容 「交通事故防止について」  
 講師 真庭警察署 妹尾宣明交通第一係長

エ 人事評価者研修会

日時 平成31年 1月 10日(木) 18:00～ 20人参加  
 場所 久世公民館  
 内容 (1) 人事評価の基本  
 (2) 考課者の心得  
 (3) 面接者の心得  
 (3) 人事考課ケーススタディー  
 講師 (株)経営開発センター 代表取締役社長 野崎悦雄氏

(2) 財務運営

【目標】

中期経営計画の実施と、真庭市の財政支援の確保を図り、福祉事業の財源となる社協会費、善意寄付、各種募金の増強や、外部資金の確保に取り組み、介護事業所の効率的運営による事業収支の改善を図ることで、真庭市社会福祉協議会の財務基盤の強化を目指しました。

【実績】

① 自主財源の増強 社協会費、善意寄付金収入、共同募金収入、収益事業収入

ア 社協会費 会費実績額 14,313,800円〔一般 11,427,800円 特別 2,886,000円〕  
 (前年対比 34,100円 一般 △77,900円 特別 112,000円)

本支所名	一般会費	特別会費	合計
本所(久世)	2,347,000円	753,000円	3,100,000円( 56,000円)
北房支所	1,444,000円	439,000円	1,883,000円( △35,000円)
落合支所	3,298,000円	637,000円	3,935,000円( 40,000円)
勝山支所	1,923,800円	400,000円	2,323,800円( 51,100円)
美甘支所	387,000円	40,000円	427,000円( △4,000円)
湯原支所	769,000円	247,000円	1,016,000円( △53,000円)
中和支所	151,000円	25,000円	176,000円( △13,000円)
八束支所	597,000円	235,000円	832,000円( △19,000円)
川上支所	511,000円	110,000円	621,000円( 11,000円)
計	11,427,800円	2,886,000円	14,313,800円( 34,100円)

## イ 善意寄付金収入

実績額 653 件(△39 件) 11,380,716 円(806,085 円)

本支所名	件数	金額
本所(久世)	142( △7)	3,092,993 円( 861,993 円)
北房支所	104( △23)	1,554,424 円( △503,576 円)
落合支所	149( 6)	2,328,490 円( 192,490 円)
勝山支所	94( △13)	1,114,554 円( △224,498 円)
美甘支所	18( △14)	240,076 円( △407,924 円)
湯原支所	59( 3)	1,140,000 円( 246,000 円)
中和支所	7( △2)	150,000 円( △22,579 円)
八束支所	59( 19)	1,362,179 円( 746,179 円)
川上支所	21( △8)	398,000 円( △82,000 円)
合計	653( △39)	11,380,716 円( 806,085 円)

## ウ 赤い羽根共同募金実績額 6,239,023 円(前年対比 116,582 円)

歳末たすけあい募金実績額 3,180,500 円(前年対比 55,275 円)

本支所名	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金	合計
本所(久世)	1,445,153 円	662,900 円	2,108,053 円( △79,392 円)
北房支所	830,272 円	427,400 円	1,257,672 円( 3,943 円)
落合支所	1,463,114 円	795,000 円	2,258,114 円( 124,835 円)
勝山支所	1,097,314 円	561,400 円	1,658,714 円( △11,528 円)
美甘支所	211,620 円	117,900 円	329,520 円( 14,783 円)
湯原支所	439,039 円	202,700 円	641,739 円( 10,543 円)
中和支所	87,644 円	48,600 円	136,244 円( 54,219 円)
八束支所	391,581 円	207,100 円	598,681 円( 17,897 円)
川上支所	273,286 円	157,500 円	430,786 円( 36,557 円)
合計	6,239,023 円	3,180,500 円	9,419,523 円( 171,857 円)

## ② 真庭市の負担金及び補助金の確保

## 【目標】

負担金 35,490 千円、補助金 30,600 千円、負担金補助金合計 66,090 千円を確保します。

## 【実績】

真庭市補助金等 ( ) は前年度対比)	合計 66,455,000 円( △12,736,500 円)
a 負担金 (福祉活動専門員の人件費)	計 35,490,000 円( △7,830,000 円)
(a) 福祉活動専門員設置負担金	32,220,000 円( 0 円)
(b) 福祉団体活動負担金	0 円( △7,830,000 円)
(c) 日常生活自立支援事業専門員負担金	3,270,000 円( 0 円)
b 補助金	計 30,965,000 円( △4,906,500 円)
(a) 福祉活動専門員以外人件費補助金	30,600,000 円( △3,221,000 円)
(b) 新総合事業(ささえあいデイサービス)補助金	365,000 円( 314,500 円)
(c) 介護保険運営補助金	0 円( △2,000,000 円)

### ③ 介護保険関係事業の経営改革

#### 【目標】

サービス区分ごとの経営管理体制の強化による経営の安定化を図ります。

#### 【実績】

財務体質改善に向け、各事業所管理者・サービス提供責任者等で協議検討し、サービスの質の向上や事故防止、業務改善に取り組みました。

### ④ 県社協補助金の確保

#### 【目標】

市町村社協活性化事業補助金 3,000 千円、相談体制整備事業補助金 2,500 千円

#### 【実績】

県社協補助金 〈( ) は前年度対比〉	計 5,500,000 円( ±0 円)
市町村社協活性化事業補助金	3,000,000 円( ±0 円)
相談体制整備事業補助金	2,500,000 円( ±0 円)

### (3) 指定管理事業

#### 【目標】

中和デイサービスセンター、八束老人福祉センター、川上老人福祉センター他の施設については、平成 30 年度より第 4 期の指定管理事業を受託します。

湯原保健福祉センターについては、介護保険サービス事業の経営の安定化を図ることに努めます。

また、真庭消防署湯原分署の移転計画の進捗状況について、真庭市と連携を図りながら業務を推進します。

#### 【実績】

指定管理料	合計 41,135,000 円 前年度対比(△513,000 円)
ア 湯原保健福祉センター管理料	28,935,000 円(指定期間 平成 27～31 年度)
イ 中和デイサービスセンター管理料	2,281,000 円(指定期間 平成 30～32 年度)
ウ 八束老人福祉センター管理料	3,415,000 円(指定期間 平成 30～32 年度)
エ 川上老人福祉センター他 2 施設管理料	6,504,000 円(指定期間 平成 30～32 年度)

## 2 地域福祉事業

### (1) 住民参加活動の推進

#### ① 小地域福祉活動の推進

地域住民が主役となって活動に参加し、地域づくりを進める中で「地域の福祉力」を高め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをします。

#### ア 地区社協組織の活性化

#### 【目標】

地域助けあい事業の推進を図るとともに、地域での見守り体制の整備に向け福祉活動専門員が積極的にかかわり、住民主体の活動提案や支援を行います。座談会等の開催(開催目標 地区社協ごとに年 1 回以上) 助けあい会議(地区社協ごとに年 2 回) の開催と助けあいマップ作成による地域での見守り体制の整備及び、困りごとを抱えた(高齢者世帯・障がいを持った方や子育てに悩んでいる方等) 人への支援。

## 【実績】

「地域助けあい事業」の推進に向けて、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を全地区社協で開催し、助けあいマップを通して、見守り体制の整備や困りごとを抱えた方への支援を行いました。

地区社協活動の指標を基に、福祉活動専門員が地区社協へ積極的に関わりました。  
各地区社協単位に市内で64回助けあい会議を開催しました。

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
地区社協数	5	7	9	5	1	4	1	1	1
助けあい会議開催数	10	14	17	8	2	7	2	2	2
地区社協による定期的な見守りが必要な世帯	75	257	134	134	47	119	47	48	72
社協職員と専門職の訪問が必要な世帯	3	13	7	8	4	7	1	3	3
助けあい事業のサービスを勧めたい世帯	2	25	9	17	2	9	2	4	9
地域での見守り件数	493	934	1,102	834	354	1,738	650	293	396

### 地区社協助成金の交付

市内地区社協 33 地区(前年度対比△1)

活動助成金 7,702,383 円(前年対比△102,399 円)

#### ○北房支所(5 地区)

・中津井せんだんの会福祉部	助成額	236,850 円
・砦部地区社協	助成額	245,250 円
・阿口竜王会	助成額	64,500 円
・上水田ふれあい助けあい隊	助成額	300,550 円
・水田むらづくりの会	助成額	272,550 円

#### ○落合支所(7 地区)

・落合地区社会福祉協議会	助成額	400,333 円
・天津地区社会福祉協議会	助成額	289,350 円
・津田地区むらづくり推進委員会	助成額	167,500 円
・木山地区社会福祉協議会	助成額	297,750 円
・美川地区社会福祉協議会	助成額	289,700 円
・河内地区福祉の村づくり	助成額	243,150 円
・川東地区社会福祉協議会	助成額	307,900 円

#### ○本所(9 地区)

・宮芝・町西福祉の会	助成額	241,000 円
・久世まちなか社会福祉協議会	助成額	264,150 円
・ひまわり福祉の会	助成額	174,000 円
・遷喬東地区社会福祉協議会	助成額	212,000 円
・川南地区社会福祉協議会	助成額	252,950 円
・草加部地区社会福祉協議会	助成額	152,450 円

・米来地区社会福祉協議会	助成額	270,450円
・檜邑地区社会福祉協議会	助成額	88,650円
・余野地区社会福祉協議会	助成額	73,950円
○勝山支所(4地区)		
・勝山地区社会福祉協議会	助成額	286,200円
・川西地区社会福祉協議会	助成額	298,450円
・月田地区コミュニティ協議会	助成額	255,200円
・富原地区高齢者福祉のむらづくり推進委員会	助成額	241,000円
○美甘支所(1地区)		
・美甘地区地域福祉推進委員会	助成額	251,550円
○湯原支所(4地区)		
・湯原東地区社協	助成額	248,400円
・湯原南地区社協	助成額	148,800円
・湯原西地区社協	助成額	129,600円
・二川ふれあい地域づくり委員会	助成額	151,050円
○中和支所(1地区)		
・中和地区社協	助成額	130,000円
○八束支所(1地区)		
・八束地区社協	助成額	399,600円
○川上支所(1地区)		
・川上地区社協	助成額	317,550円

## イ ふれあい・いきいきサロンの推進

### 【目標】

身近な地域で気軽に参加でき、「豊かに暮らせる福祉コミュニティ」づくりを目的としてサロンの未設置地区への普及促進を図ります。また、現行のサロンが継続できるよう、メニューや貸出物品の情報提供、サロンの集い等を開催し情報交換の場を設けるなど活動を支援します。

福祉活動専門員がサロンに積極的に出向き、地域住民のサロン推進への関わりや地域福祉活動への理解を進めます。

また、未設置地区においては、出前サロンを行い、サロン設置を推進します。

### 【実績】

「ふれあい・いきいきサロン」の設置推進と活動助成

活動助成金 4,156,167円(歳末助成 565,400円含む)(前年度対比△285,183円)

地区別設置数 186サロン(前年度対比△8サロン) (サロン数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	全域
24	39	28	44	9	15	2	12	12	1

「おためしサロン」の開催等サロンの普及啓発活動を実施し新規5サロン設置しました。

#### ウ 福祉委員活動の充実

##### 【目標】

身近な地域の見守り、アンテナ役として役割が浸透するように、福祉委員研修会や住民座談会等で具体的な役割の提示をします。各種資料を活用した福祉委員研修会の開催、開催目標年2回以上（各支所）活動活性化のため、回覧板の活用や、社協だより・ホームページ・M I T等で具体的な活動について周知します。

##### 【実績】

福祉委員研修会を市内11会場で開催し、社会福祉協議会の取り組みや福祉委員の手引き等で福祉委員の役割について説明しました。また、福祉委員の協力を得て作成したDVDを研修会で活用しました。地域で見守りが必要な方は高齢者だけでなく、障がいを持った方や子育てに悩んでいる方の理解も併せて行いました。

福祉委員数計 873 名      研修等開催数計 17 回      (名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
福祉委員数	98	256	136	144	53	81	13	56	36
研修等開催数	2	1	2	4	2	2	1	2	1

#### エ 見守りネットワークの構築

##### 【目標】

福祉委員と民生委員児童委員をはじめ地域住民との連携・情報交換の場づくり、福祉情報等の提供を積極的に行います。住民座談会や助けあい会議を開催し、見守り活動の充実を図るため福祉委員や民生委員児童委員等との連携を強化します。救急医療情報キット設置及び更新時における見守り活動の充実を図ります。地域の福祉課題を早期に発見し必要な支援に結び付けるため、地域助けあい事業による見守り活動の推進を行います。真庭市が行う見守りネットワーク事業に参加し、関係機関等との連携を図ります。

##### 【実績】

各地区社協単位に市内で58回座談会を開催し、地区社協、福祉委員、民生委員児童委員との連携や情報交換を行いました。また、地域助けあい事業の説明や救急医療情報キットの設置・更新を行いました。

開催回数      (回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
10	7	9	8	7	7	2	2	6

#### オ 小地域福祉活動を支える人財の育成

##### 【目標】

地域福祉活動の活性化や意識の高揚のために、研修会や意見交換会を開催します。地域福祉推進委員会の開催。地域福祉推進委員代表者会議の開催。地域福祉活動担い手研修会の開催。

##### 【実績】

(ア) 地域福祉推進委員会

##### 【目標】

開催目標各支所3回以上

**【実績】**

地域福祉推進委員会 委員数計 92 名、開催計 29 回 (名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
推進委員数	12	14	14	13	8	11	5	9	5
委員会回数	5	4	3	2	3	3	2	3	4

**(イ) 地域福祉推進委員代表者会議****【目標】**

開催目標年 3 回以上

**【実績】**

地域福祉推進委員代表者会議開催 2 回

日時 平成 30 年 6 月 29 日(金)

平成 31 年 3 月 6 日(水)

地域助けあい事業推進や福祉委員活動の活性化についての協議を行い、また、社協会費の増強についての取り組みを説明しました。各地域での活動の状況報告等も併せて行いました。

**(ウ) 地域福祉活動担い手研修会の開催****【目標】**

開催目標年 1 回

**【実績】**

地域福祉推進委員、地区社協関係者、福祉委員、地域助けあい事業協力会員等を対象に研修会を開催しました。また、地域福祉活動の実践や地域助けあい事業についてグループワークも併せて行いました。

演題 「地域共生社会」の実現に向けて—今求められるあたたかな地域づくり—

講師 小坂田稔氏 (美作大学生生活科学科社会福祉学科教授)

日時 平成 30 年 11 月 14 日 (水) 13 : 30 ~ 参加者 61 名

場所 ハイランド落合

**② 当事者及び当事者組織の支援**

市内で活動する福祉団体等の活動を自立に向けて支援します。また、当事者の相談や、社会参加、問題解決等に向けて支援します。

**ア 当事者の社会参加支援****【目標】**

当事者の交流・社会参加を支援するため、真庭市や真庭地域自立支援協議会と連携して各種交流事業を開催するとともに情報提供を行います。

**【実績】**

第 7 回真庭地域ふれあいスポーツフェスティバルの開催にあたり、実行委員会委員として出席し、また後援団体として協働しました。

**イ 各種当事者組織の自主運営に向けた、活動支援及び組織化****【目標】**

(ア) 当事者組織の自主運営に向けて、真庭市及び各団体と活動内容を協議しながら



活動支援を行います。また、事務運営に関する協議・検討を行います。

(イ) 情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み

- a 真庭市老人クラブ連合会活動支援
- b 真庭市身体障害者福祉協会活動支援
- c 真庭市手をつなぐ親の会活動支援
- d 真庭市遺族会連合会活動支援

【実績】

市内で活動する福祉団体等の事務局を担当し、活動支援を行いました。また、真庭市の基本方針を受け、説明を行うとともに自主運営に向けた支援を行いました。

福祉団体事務局運営補助金 6,751,000 円

(ア) 真庭市老人クラブ連合会活動支援

【目標】

会員の目標 9,500 名。自立に向けた取り組み。

【実績】

会員数 7,854 名(前年対比△470 名) 市補助金 9,903,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、老人クラブ大会、スポーツ大会、研修等。

(イ) 真庭市身体障害者福祉協会活動支援

【目標】

自立に向けた活動の支援。

【実績】

毎年会員数が減少する中、組織運営自体ができにくい状況となり役員会で検討を重ねた結果、5月22日の総会をもって解散となりました。

最終の会員数 465 名 市補助金 1,300,000 円

(ウ) 真庭市手をつなぐ親の会活動支援

【目標】

情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み。自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 89 名(前年対比△2 名) 市補助金 250,000 円

総会、役員会、県大会、研修交流会等。

(エ) 真庭市遺族会連合会活動支援

【目標】

遺族会の活動が円滑にできるよう支援。

【実績】

会員数 1,005 名(前年対比△68 名) 市補助金 1,073,000 円

総会、役員会、県代表者大会等。

ウ 当事者組織との協働活動の推進

【目標】

就労支援事業所・作業所へ必要な情報を提供し、真庭地域自立支援協議会への参加により障がい者(児)支援を推進します。

社会福祉大会等において各作業所の製品等を展示・販売し、作業所の紹介を行います。

【実績】

真庭地域自立支援協議会へ参加し、情報交換や事業協力を行いました。また、第2回

「真庭福祉フェス」では障がいに関する理解を促し、真庭地域の社会資源紹介や各種福祉体験を行いました。

毎年開催している社会福祉大会では、コーナーを設け作業所で作られた物品の販売を行いました。

### ③ ボランティア活動者の育成支援

地域活動の中で見えてきたニーズを基に、人材の発掘と育成を図ります。

#### ア ボランティア市民活動センター及びボランティアステーションの機能の強化

##### 【目標】

ボランティア活動がしやすい環境を整え、ボランティア活動の活性化を目指します。

(ア) ボランティアコーディネート

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入推進（掛金の一部助成）

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援（地域福祉活動団体への支援）

(オ) ボランティア活動の広報啓発

##### 【実績】

(ア) ボランティアコーディネート

本所内に「ボランティア市民活動センター」を設置し、ボランティア活動のコーディネート、支所及び関係機関との連絡調整等を行いました。

地区別ボランティア相談件数 202 件（前年度対比△9 件） (件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
4	29	45	18	0	76	9	0	7	14

市内ボランティアの組織化による交流促進及び活動の活性化支援、ボランティアの安全確保、市内ボランティア活動及び市民活動への助成

ボランティアステーションの機能強化。社協各支所内に「ボランティアステーション」を設置し、ボランティア登録を行い、ボランティア相談窓口を開設し、相談に応じました。

地区別ボランティア登録者数 1,075 名（前年度対比△42 名） (名)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
8	315	238	189	30	30	13	32	20	200

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入促進（掛金の一部助成）

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援（地域福祉活動団体への支援）

各種福祉関係団体助成の実施

助成団体 13 団体 助成金 1,093,000 円（前年度対比△70,150 円）

・北房更生保護女性会	助成額	66,000 円
・落合ヘルスボランティア連絡協議会	助成額	114,000 円
・手作りおもちゃボランティア「チャチャ」	助成額	29,000 円
・あじさいの会	助成額	44,000 円
・月田ボランティアグループ	助成額	143,000 円
・富原福祉のむらづくりボランティアグループ	助成額	250,000 円
・湯原ボランティアの会	助成額	21,000 円
・子育て応援隊	助成額	112,000 円

・蒜山認知症介護者の会	助成額	20,000円
・真庭市ボランティア連絡協議会	助成額	149,000円
・蒜山地区福祉運動会	助成額	28,000円
・どーなつの会	助成額	95,000円
・まにわ障害者フライングディスククラブ	助成額	22,000円

(オ) 社協だより等でボランティア活動の広報啓発を行いました。

## イ 災害ボランティアセンターなどの災害緊急対応体制の整備

### 【目標】

- (ア) 岡山県や岡山県社協等の行う災害ボランティアセンター関係研修に参加し、災害時の対応に備えます。
- (イ) 真庭市との協定に基づき、災害時に連携した支援を行います。

### 【実績】

- (ア) 昨年7月に発生した豪雨災害により真庭市内をはじめ、県内各地で甚大な被害となり、被災各地で災害ボランティアセンターが設置され活動が行われました。真庭市社協からも各地の災害ボランティアセンターで運営支援を行いました。
- ・総社市社協及び倉敷市社協（真備地区）ー延べ235名
- また、災害ボランティアバスを運行し、被災地でボランティア活動を行いました。高梁市及び倉敷市（真備地区）で計5回、延べ117名が活動しました。
- 真庭市内でもボランティアを募集し、被災された高齢世帯6世帯で延べ7日間・41名が活動を行いました。
- (イ) 昨年7月の豪雨災害を受け、真庭市の依頼により市主催の「地域防災説明会」に参加し、地域の防災力向上に向けた説明を受けました。各地域で開催された説明会では、自主防災組織の設立や組織の強化、また個別の避難計画作成に向け現状と課題が協議されました。

## ウ ボランティアの養成・育成

### 【目標】

- (ア) 夏のボランティア体験事業の開催
- (イ) 子育て支援ボランティア養成講座の開催

### 【実績】

- (ア) 夏のボランティア体験事業 参加者数 248人(前年度対比△9人) (人)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
32	66	79	32		6	30		

事前研修及び事後研修は6か所を実施(北房・落合・久世・勝山・湯原・蒜山会場)

- (イ) 子育て支援ボランティア養成講座の開催

第1回	平成30年	9月11日(火)	13:30~	勝山文化センター	参加者10名
第2回	平成30年	9月18日(火)	13:30~	勝山文化センター	参加者10名
第3回	平成30年	10月31日(水)	13:30~	勝山文化センター	参加者5名

## エ ボランティアネットワークの推進・活性化

### 【目標】

- (ア) 市内ボランティア団体の連携・交流・情報交換  
ボランティア交流会の開催 開催目標 2回  
ボランティア研修会の開催 開催目標 1回
- (イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援  
ボランティアの活動が活性化するよう「社協だより」の活用やホームページ等で情報を発信し、住民参加と理解を促進します。
- (ウ) 関係機関と連携した活動の展開

### 【実績】

- (ア) 支所単位に、研修会や情報交換会を実施しました。
  - ・ボランティア研修・交流会 i n 湯原  
日時 平成 30 年 8 月 27 日(月) 10 : 00～  
場所 湯原保健福祉センター 参加者 72 名
  - ・ボランティア交流会 i n 落合  
日時 平成 31 年 2 月 23 日(土) 10 : 00～  
場所 落合総合センター 参加者 76 名
- (イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援  
ボランティア活動の活性化に向けて「社協だより」やホームページ等で情報発信を行いました。
- (ウ) 地域と連携を図り、ボランティア団体等へ研修会等の情報提供を効果的に行いました。

## ④ 地域包括ケアシステムの構築

### 【目標】

地域の中で援助を必要とする人の福祉課題の早期発見・早期対応のための仕組みづくりに向け、地域包括ケアシステム構築を進める中心機関である地域包括支援センターと連携、協働し取り組みます。また、小地域ケア会議の必要性について提言していきます。

### 【実績】

地域包括支援センターと連携し、地域での見守りネットワーク活動等について協議を行いました。また、地域包括ケア会議研修会に参加し、社協の事業を周知するとともに、生活支援コーディネーター等専門職と協力し援助を必要とする人の早期発見に向け取り組みました。小地域ケア会議については、市全体のケア会議・圏域ごとのケア会議・個別ケア会議の構成で進められました。

## ⑤ 新たな公共活動の開発・推進

### 【目標】

地域の課題解決を図るため、NPOや企業等との協働による新たな支援活動の開発に向けた検討を行います。

ふれあい・いきいきサロンでの移動販売利用事業を周知し、利用促進を図ります。  
住民参加による「居場所づくり」や「外出支援」など、新たな地域活動を推進します。

### 【実績】

「地域助けあい事業」を推進し、定期的な見守り体制の構築を図りました。

住民参加による新たな地域福祉活動を支援しました。

- ・地域を拠点とした居場所づくりの支援【八東地区 他】
- ・地域で訪問活動や買い物支援【湯原・見明戸地区、美甘・黒田地区 他】

## (2) 個別支援活動の推進

### ① ニーズの早期発見・早期支援体制の確立

#### 【目標】

福祉活動専門員によるアウトリーチ活動を積極的に行うとともに、地区社協、民生委員児童委員、福祉委員や地域住民による見守り活動を基盤とし、地域ニーズの早期発見を行い、適切な支援につなげていきます。

#### ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりの推進

(ア) 地域助けあい事業による見守り、支援活動の推進

(イ) 助けあい会議で「助けあいマップ」作成による支援が必要な世帯（高齢者世帯・障がいを持った方や子育てに悩んでいる方等）の把握

(ウ) 見守りの連携強化

#### イ 福祉活動専門員によるアウトリーチ活動の推進と個別支援

#### ウ 全地区社協での住民座談会の開催

#### 【実績】

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりに向け、地区社協座談会で福祉委員や民生委員等による見守り活動の必要性について説明と依頼を行い、「地域助けあい事業」により地域での見守りをおこないました。

また、全地区社協で助けあい会議を開催し、「助けあいマップ」を作成し、見守りネットワークづくりを進めました。

イ 福祉活動専門員により要援護世帯の訪問活動を行い、他職種と連携し、適切な福祉サービスの利用に繋げました。アウトリーチ活動延べ回数-954回

ウ 地区社協での住民座談会の開催については P13 にて掲載しています。

### ② 在宅福祉活動

#### ア 高齢者支援の推進

#### 【目標】

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の在宅での生活を支えるため、各種在宅福祉サービスを実施します。

(ア) 一人暮らし高齢者のつどい、配食サービス、外出支援等

(イ) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車輛貸出事業、声の広報

(ウ) 福祉移送サービス・高齢者等給食サービス事業[真庭市受託事業]・真庭市介護予防・日常生活支援総合事業(生活支援サービス事業)[真庭市受託事業]

(エ) お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

【実績】

(ア)・配食サービス

[実施支所] 美甘 (週1回ボランティアの協力により実施)

・歳末配食サービス

[実施支所] 勝山、美甘、中和、八東、川上

・歳末友愛訪問

[実施支所] 本所(久世地域)、落合

・歳末ひとり暮らしのつどい

[実施支所] 北房、本所(久世地域)

・歳末世代間交流

[実施支所] 川上

・歳末外出サポート

[実施支所] 湯原

・コミュニティカフェ

[実施支所] 八東

(イ) エ 全般的支援の推進にて記載 (P21)

(ウ) 高齢者等給食サービス事業 [真庭市受託事業] <( ) は前年度対比>

支所名	配食数 (食)	金額 (円)
北房支所	2,101 ( 268)	1,890,900 ( 241,200)
勝山支所	1,994 ( 256)	1,794,600 ( 230,400)
湯原支所	1,746 ( △335)	1,571,400 ( △301,500)
中和支所	309 ( 50)	278,100 ( 45,000)
八東支所	1,761 ( 342)	1,584,900 ( 307,800)
川上支所	816 ( 147)	734,400 ( 132,300)
合計	8,727 ( 728)	7,854,300 ( 655,200)

真庭市介護予防・日常生活支援総合事業

(生活支援サービス事業) [真庭市受託事業] <( ) は前年度対比>

支所名	配食数 (食)	金額 (円)
北房支所	358 ( △56)	322,200 ( △50,400)
勝山支所	322 ( 192)	289,800 ( 172,800)
湯原支所	250 ( △6)	225,000 ( △5,400)
中和支所	122 ( △39)	109,800 ( △35,100)
八東支所	176 ( 33)	158,400 ( 29,700)
川上支所	231 ( 132)	207,900 ( 118,800)
合計	1,459 ( 256)	1,313,100 ( 230,400)

(エ) お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

在宅福祉サービス 訪問介護事業に掲載 (P28)

イ 障がい者(児)支援の推進

【目標】

地域で自立した生活や社会参加が可能になるよう関係機関等と連携し、必要なサービスを提供します。

- (ア) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車輛貸出事業、声の広報
- (イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業]

**【実績】**

(ア) 声の広報は、毎月の社協だよりや広報まにわの情報をボランティアの協力によりCDに録音し、音声でご自宅にお届けしました。利用者数 14 名（前年度対比±0）

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業]

本所は昨年度の全移送車の有償運送車両表示シート購入増額分がマイナスになりました。透析受診利用者の定期的利用及び長距離利用のため全体的に増額となりました。〈（ ）は前年度対比〉

支所名	事務件数	金額（円）
本 所	—	136,090（△134,852）
北房支所	965（138）	4,382,465（399,106）
落合支所	224（17）	817,530（2,955）
勝山支所	149（45）	952,584（190,609）
美甘支所	133（16）	969,014（39,476）
湯原支所	192（32）	1,018,887（124,985）
合 計	1,663（248）	8,276,570（622,279）

勝山、美甘支所は車検費用も受託金に含まれるため、増減にはその金額が反映されています。

ウ 子育て支援の推進

**【目標】**

地域住民や関係機関等と連携し、子育てサロンの設置や子育て支援ボランティアの養成・支援を行うとともに、身近に相談できる関係づくりや情報提供に努めます。また、子育て支援団体間のネットワークづくりに継続して取り組み、地域へ子育て支援の理解を進めていきます。

**【実績】**

子育て支援事業について職員プロジェクトにより、親子の集いの場をまとめた紹介冊子を作成しました。また、真庭市の子育て支援の状況について情報収集を行うとともに、関係機関の協力により子どもの居場所についてのアンケートを行い、居場所づくりについての報告書を作成しました。

また、子育て支援団体との情報交換会を開催し、団体間のネットワークづくりに取り組みました。

第1回 平成30年 6月14日(木) くせ生き生きサロン 参加者 12名

第2回 平成30年 11月27日(火) 北房振興局 参加者 7名

子育て支援ボランティア養成講座を開催し、支援者の養成・育成を図るとともに、子育てサロンの活動支援と助成金の交付を行いました。サロン開催2か所

エ 全般的支援の推進

**【目標】**

福祉機器介護用品貸出事業、福祉車輛貸出事業、たすけあい号貸出事業、レクリエーション用具貸出等を実施し、在宅の高齢者、障がい者(児)及び住民の地域福祉活動を支援します。

老朽化した備品のメンテナンスや整備・更新を適宜行います。

**【実績】**

福祉器具介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業により在宅介護者の支援及び福祉活動団体等の支援を行いました。

福祉機具・物品等の貸出実績

(件数)

貸出物品 車両	車いす	ベッド等 介護機器	福祉体験 学習用品	福祉車両	たすけあい号 マイクロバス	レクリエー ション用具	その他
貸出件数	180	100	19	143	99	155	37

③ 相談支援の実施

ア 相談窓口機能の充実

**【目標】**

相談援助の専門職として、的確、適切な対応に努めます。また、ふれあい・いきいきサロンや地区社協活動等を活用し「ふくし巡回相談」に取り組み、住民が身近な場所で相談できるよう進めます。

ふくし巡回相談開催目標 114 回（市内全域）

**【実績】**

社協職員研修、事例検討会等、職場外研修(まにわ暮らしの何でも相談会等)への参加により、担当職員の資質向上に努め円滑で迅速な相談援助を実施しました。

ふくし巡回相談実施回数 94 回（市内全域）

イ 心配ごと相談所の開設[真庭市受託事業]

**【目標】**

身近な総合相談窓口として、問題解決に向けて適切な相談援助を行います。

**【実績】**

事業費総額 950,000 円(前年度対比±0 円)(内受託収入 950,000 円)

地区別相談件数計 101 件(前年度対比 42 件)

(件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
11	9	14	9	2	7	1	7	0	41

相談所開設日等の周知(MIT、告知放送、社協だより等での周知)

ウ 生活福祉資金の貸付事業 [県社協受託事業]

**【目標】**

民生委員等と連携し、利用者（借受世帯）の生活指導や償還指導に努め、経済的自立と生活の安定を支援します。

貸付の対象とならない人への支援も関係機関等と連携をとりながら取り組みます。また、生活困窮者自立相談事業と連携・協働し、生活困窮世帯への適切な支援を行います。

**【実績】**

平成 30 年度新規貸し付け 0 件

平成 30 年度相談受付件数 10 件

事業費総額 3,073,595 円（前年度対比 15,604 円)(内受託収入 526,100 円)



平成 30 年度末現在貸付件数 9 件(前年度対比±0 件) (貸付件数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
1	3	2	1	0	0	0	1	1

## エ 日常生活自立支援事業 [県社協受託事業]

### 【目標】

行政等の関係機関と連携し、利用者の権利を守る事業として適切なサービスの提供に努めます。今後利用者の増加が見込まれることを踏まえ、幅広く市民に権利擁護に関する情報を提供し、その必要性を周知していきます。

生活支援員研修会の開催。関係部署と情報共有を図り、利用者の地域生活支援に取り組みます。県社協が主催する研修会や連絡会等に参加し、専門性の向上や地域との連携に努めます。利用者への適切なサービス提供と職員の資質向上を図るため、研修を行います。

### 【実績】

実利用者数(平成 30 年度末 契約者数)41 件(前年度対比 10 件)

平成 30 年度相談援助件数 2562 件

事業費総額 7,361,329 円(前年度対比 15,630 円)(内受託収入 2,893,600 円)

(件数、人)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用件数	3	14	12	5	3	3	0	0	1
生活支援員 (実動数)	3	9	8	5	2	2	0	0	1

- ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会  
平成 30 年 7 月 26 日(木) 津山市総合福祉会館
- ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会・情報交換会  
平成 30 年 12 月 3 日(月) 湯原保健福祉センター  
平成 30 年 12 月 4 日(火) 久世公民館
- ・日常生活自立支援事業専門員連絡会議出席(年 3 回開催)
- ・成年後見制度情報交換会出席(年 4 回開催)  
成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

## (3) 地域福祉推進のための環境整備の推進

### ① 福祉教育の推進

#### ア 児童・生徒へ福祉教育の推進

### 【目標】

出前福祉講座の実施や地域型福祉学習事業助成等により、思いやりの心を持った人財育成に取り組みます。

### 【実績】

(ア) 地域型福祉学習指定校数 合計 22 校(前年度対比△5 校)

助成総額 469,659 円(前年度対比△74,397 円)

(学校数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
1	6	4	5	0	3	1	1	1

小学校 18 校 中学校 3 校 高等学校 1 校

(イ) 学校福祉体験支援 支援回数 23 回

車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、手話体験講座、ボランティア講座  
点字体験講座、当事者の講話等の支援を実施しました。(回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
3	5	9	3	0	1	0	2	0

イ 地域住民、医療・福祉関係者等専門職へ福祉教育の推進

**【目標】**

各種講演会や研修会・地区社協活動推進等により地域住民の福祉に対する理解と関心を深めます。また、専門職の地域福祉や小地域福祉活動への理解を進めます。

**【実績】**

各地区社協で住民座談会を実施し、地域福祉活動の周知、啓発を行いました。(全 58 回)  
地域福祉活動担い手研修会を実施し、各地域での福祉活動の情報交換や情報共有等を行い、小地域活動への理解を深めました。  
社会福祉大会の開催や、地域ケア会議等で社協活動の周知、啓発を行いました。

② 広報啓発活動の推進

**【目標】**

ア 社協活動が十分に周知できるよう広報活動を組織的・計画的に実施

イ 広報誌「社協だより」の内容充実、ホームページの更新、SNS の活用等、各広報手段の積極的な活用

ウ イメージキャラクターの活用

社協活動により親しみと関心を持ってもらうため、広報誌、ホームページや SNS、社会福祉大会等イベント時や支所活動にキャラクターを活用して、社協の PR を行います。

エ 広報委員会の活性化

広報委員会の開催目標 4 回 (平成 29 年度実績 4 回)

オ 真庭市社会福祉大会の開催

住民への周知や啓発を行いながら、福祉意識の向上や社協活動の紹介等を目的に、「真庭市社会福祉大会」を開催します。

**【実績】**

ア 職員間や広報委員会等での会議や打ち合わせを行いながら広報誌発行の年間計画を作成し、幅広い世代の方に興味を持っていただけるような広報誌の作成に努めました。

イ 広報委員会等で社協だよりの内容における振り返りや反省を行い、より良い誌面作りに努めました。また、ホームページの定期的な更新に併せ、社協のツイッターを開設し、社協だより以外での社協活動の広報活動や、リアルタイムでの福祉情報の提供を行いました。

ウ 社協のイメージキャラクター「きょうちゃん」の着ぐるみ、ぬいぐるみ、着ぐるみ帽子を職員及び市内の協力者で作成し、共同募金活動及び社会福祉大会等の各種イベントで活用しました。また、広報誌や共同募金グッズ等にキャラクターを積極的に活用し、キャラクターの親しみやすいイメージ作りに努めました。

エ 広報委員会の活性化（全4回開催）

第1回 平成30年 5月 9日(水) 久世公民館

第2回 平成30年 9月 7日(金) 久世公民館

第3回 平成31年 1月 23日(水) 久世公民館

第4回 平成31年 3月 5日(火) 久世公民館

オ 社会福祉大会の開催

平成30年12月8日(土)12:00～ 勝山文化センター(参加者約700人)

第1部 式典

真庭市社会福祉協議会長表彰（個人4名、20団体）

社会福祉施設関係2名

優良社会福祉推進2名、20団体

真庭市老人クラブ連合会長表彰 個人7名、2団体

第2部 記念講演「橋幸夫の介護から ～一生健康・一生学習～」

講師 歌手 橋 幸夫 氏

### ③ 調査・研究活動の推進

#### 【目標】

福祉に対する地域ニーズを把握し、ニーズに即した福祉活動を展開できるよう調査研究を行います。

ア 生活困窮者・ひきこもり支援

地域助けあい事業を地区社協と一体的に進め、地域課題の発掘に努めるとともに、関係機関と連携し把握に努めます。

イ 子どもの貧困に関する調査

真庭市等と連携し状況の把握に努め、社協として地域と協力し取り組めることについて検討します。

#### 【実績】

ア 地域助けあい事業を地区社協と一体的に進め、助けあい会議で生活困窮者やひきこもりの方の支援についての説明や理解とともに情報提供を呼びかけました。

イ 子育て支援事業について職員プロジェクトにより、真庭市の子育て支援や子どもの貧困の状況等について真庭市等と連携し情報収集を行いました。

#### ④ 社会資源の活用・改善・開発

##### 【目標】

ア アウトリーチ活動や住民座談会での地域課題解決に向け、市や関係機関への提言を行います。また、地域における広域的な事業の取り組みについて、市内社会福祉法人・施設等と協議を行います。

イ 地域ケア会議等で取り組む社会資源把握や資源マップ（制度・サービス等）作成を関係機関と協働して取り組みます。

##### 【実績】

アウトリーチ活動や座談会等で把握した地域課題の解決に向けて、地域ケア会議等を通じて、市内関係機関へ提言を行いました。

#### ⑤ 住民の権利擁護の推進

##### 【目標】

ア 日常生活自立支援事業の啓発・利用促進

イ 成年後見制度の啓発・利用促進

ウ 法人後見事業の実施

社会福祉協議会が法人として、成年後見制度における成年後見人、保佐人、補助人となり、判断能力が不十分な方の保護、支援を継続して行います。

(ア) 法人後見支援員情報交換会（年2回）

(イ) 関係部署と情報共有・連携を図り、利用者の地域生活を支援します。

(ウ) 県社協が主催するフォーラムや連絡会等に参加し、専門性や資質向上を図り地域との連携に努めます。

(エ) 法人後見運営委員会を年3回開催し、適正な事業運営を図ります。

(オ) 権利擁護に関する中核的支援機関の必要性について、真庭市や関係機関・団体等と協議を行います。

エ 事業実施における個人情報の取り扱いについて、地域住民に理解を求め、個人情報を適切に保護できる仕組みづくりを行います。

##### 【実績】

ア 地区座談会や助けあい会議、行政等関係機関との連携により「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」の啓発・利用促進を図りました。

イ 法人後見事業の実施

受任件数 5件 相談援助件数 267件

事業費総額 3,395,115円(前年度対比 264,133円)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用者数	0	1	1	0	1	1	0	1	0
（後見）	0	1	1	0	0	1	0	1	0
（保佐）	0	0	0	0	1	0	0	0	0
（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援員 （実動数）	0	1	1	0	1	1	0	1	0

・法人後見運営委員会の開催

第1回 平成30年 8月24日(金) 久世公民館

第2回 平成30年11月 8日(木) 久世公民館

第3回 平成30年12月26日(水) 久世公民館

第4回 平成31年 3月22日(金) 久世公民館

・法人後見支援員研修会・情報交換会

平成30年12月 9日(日) 勝山文化センター

・家事関係機関（後見制度関係機関）との連絡協議会出席

平成30年 9月25日(火)

・成年後見制度利用促進に関わる情報交換会出席

平成30年11月14日(水)

・法人後見専門員連絡会出席

平成31年 1月25日(金)

・岡山県市民後見人情報交換会出席

平成31年 2月 6日(水)

・成年後見事件にかかる事情説明会出席

平成31年 3月14日(木)

・勝山病院健康教室での事業紹介

平成31年 3月27日(水)

・成年後見制度情報交換会出席（年4回開催）

成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

ウ 地域福祉推進における個人情報保護と地域で共有できる仕組みづくり

地域助けあい事業で行う「助けあい会議」や座談会等で、個人情報の保護や書類の管理等について説明するとともに、情報提供を依頼し、「情報保護」と「情報提供」について説明し、地域活動における個人情報についての理解を深めました。

⑥ 評価体制の整備

【目標】

事業の年度評価の実施。評価シートの活用と、実施事業の効果・効率性の検討を行い、事業の必要性について協議を行います。

【実績】

年度別事業評価シートにより、各種地域福祉事業の評価を行いました。

### 3 在宅福祉サービス

#### (1) 訪問介護事業所（介護予防訪問介護事業所、障害者総合支援事業、介護予防訪問・お助け訪問〔真庭市受託事業〕を含む）

##### 【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、自立支援サービスに努め、利用者満足度 100%を目指します。

ア 利用者個々のニーズにあった、適切なサービスを提供します。

(ア) 年間研修計画及び個人目標により自己研鑽・自己啓発に努めます。

(イ) 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

(ウ) 介護福祉士・同行援護資格を取得します。

イ 業務管理体制の強化により、適切なサービスを提供し、職員の一体化を目指します。

(ア) 職員間の連携を図りサービスの質の向上と維持に努めます。

(イ) 特定事業所加算を継続し、介護報酬の増額と業務の効率化を図ります。

(ウ) 毎月定期的なヘルパー会議と、必要に応じミーティングを行い、サービスの質の向上に努めます。

ウ 多職種及び地域福祉部門と連携し、地域包括ケアの一員として積極的に寄与し、また医療知識の習得のため研修に積極的に参加します。

##### 【実績】

介護保険では他事業所の訪問介護事業の廃止により、その利用者の受け入れに伴って新規利用者が増加しましたが、介護職員の人員確保が困難な状況であり、希望通りの訪問回数や訪問時間にそえない状況もでてきています。

また、障害者総合支援事業では利用者の入院や施設入所、介護保険への移行により減額となりました。

お助け訪問では南事業所のべ利用人数は 391 人、のべ回数は 1,853 回でした。

北事業所のべ利用人数は 124 人、のべ回数は 561 回でした。

ア 事業所内会議を開催し、サービス内容の徹底を図りました。

資格取得では、介護福祉士資格、同行援護資格を各 1 名が取得しました。

イ 特定事業所加算が算定できる体制を継続し、担当地区を超えて事業所全体で協力し業務を実施しました。

ウ 多職種の研修会や外部研修に参加し、知識の習得と連携を図りました。

#### 訪問介護（介護予防訪問介護）事業

〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担 (円)	介護報酬 (円)	合計
訪問介護南事業所	5,837,335 (△307,822)	49,246,057 ( 494,633)	55,083,392 ( 186,811)
訪問介護北事業所	3,143,565 ( 334,592)	27,592,874 ( 3,962,754)	30,736,439 ( 4,297,346)
合 計	8,980,900 ( 26,770)	76,838,931 ( 4,457,387)	85,819,831 ( 4,484,157)

## 訪問介護（介護予防訪問介護）事業

延べ 23,448 回 20,703 時間 46 分

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	1,274	1,092:44	528	504:25	1,802	1,597:09
5月	1,275	1,105:57	549	526:53	1,824	1,632:50
6月	1,389	1,192:31	539	615:26	1,928	1,807:57
7月	1,370	1,165:32	574	555:56	1,944	1,721:28
8月	1,342	1,141:24	637	603:42	1,979	1,745:06
9月	1,230	1,037:32	711	701:10	1,941	1,738:42
10月	1,491	1,244:41	741	697:21	2,232	1,942:02
11月	1,438	1,180:57	696	644:23	2,134	1,825:20
12月	1,274	1,063:36	728	675:17	2,002	1,738:53
1月	1,203	1:007:47	626	589:31	1,829	1,597:18
2月	1,246	1,036:57	576	558:46	1,822	1,595:43
3月	1,366	1,138:14	645	623:04	2,011	1,761:18
合計	15,898	13,407:52	7,550	7,295:54	23,448	20,703:46

## 障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業（ ）は前年度対比

事業所名	利用者負担（円）	事業報酬（円）	合計
訪問介護南事業所	64,270 (△46,430)	10,358,810 (△1,431,166)	10,423,080 (△1,477,596)
訪問介護北事業所	120 ( 85)	2,484,290 (△115,995)	2,484,410 (△115,910)
合計	64,390 (△46,345)	12,843,100 (△1,547,161)	12,907,490 (△1,593,506)

## 障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	266	240:00	64	51:30	330	291:30
5月	281	250:00	68	54:30	349	304:30
6月	280	253:00	56	45:30	336	298:30
7月	268	253:30	71	62:30	339	316:00
8月	224	215:15	57	48:30	281	263:45
9月	220	203:15	52	44:00	272	247:15
10月	254	240:30	62	54:00	316	294:30
11月	237	232:30	66	55:30	303	288:00
12月	186	195:45	63	52:00	249	247:45
1月	187	193:15	61	52:00	248	245:15
2月	182	189:00	63	54:00	245	243:00
3月	213	218:00	75	64:00	288	282:00
合計	2,798	2684:00	758	638:00	3,556	3,322:00

## お助け訪問事業〔真庭市受託事業〕

〈( )は前年度対比〉

事業所名	訪問時間(基準額)	利用回数(回)	金額(円)
南事業所	20分以上45分未満	6(0)	3,333,360(△847,800)
	45分以上	1,847(△471)	
北事業所	20分以上45分未満	127(77)	966,620(△198,980)
	45分以上	434(△173)	
合計		2,414(△567)	4,299,980(△1,046,780)

## (2) 訪問入浴介護事業(介護予防訪問入浴介護事業、障害者訪問入浴サービス事業〔真庭市受託事業〕を含む)

## 【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、在宅生活を支えます。また、安全・快適なサービスの提供を行い、信頼される事業所を目指します。

## ア 真庭市全域をカバーする組織運営

- (ア) 親切、丁寧、即対応により利用者ニーズに応えます。
- (イ) 車輛の始業前点検を実施します。
- (ウ) 設備点検を万全に行い、事故防止に努めます。

イ 利用者一人ひとりの希望の実現に向けた個別ケアの提供ができる人財を育成します。

- (ア) 年間研修計画及び個人目標により自己研鑽・自己啓発に努めます。
- (イ) 利用者理解と接遇及び、コミュニケーションの向上を図ります。
- (ウ) 事業所内研修を実施し、職員の意識、介助方法の統一を図ります。
- (エ) 報告、連絡、相談を徹底し、利用者本位のサービス提供を行います。

ウ 多職種との連携により、安全で快適なサービスを提供します。

医療機関、居宅介護支援事業所と連携しながら、きめ細やかな対応をすることにより、安全を確保するとともに、快適な入浴となるよう事業を推進します。

利用者の立場になって思いやりを持ったケアの実現に努めます。

## 【実績】

新規契約は前年比15%減でした。短期利用の方が多く、継続、安定した訪問件数の確保が困難な状況でした。

障害者(児)入浴は、対象者が1人であり、障害者施設も利用されているため、1ヶ月の訪問件数が1.8件と減少しました。

1日の平均稼働訪問件数は昨年の5.9件から4.9件と減少しました。

ア 安全施策に努め、市内全域を訪問しました。

イ 職員間で情報の共有を図り、安全、安心なサービス提供に努めました。

利用者本位のサービス提供に努め、利用者、ご家族とのコミュニケーションを密に図り、日々サービスを丁寧に行いました。

介助方法の確認等その都度行い、事故なくサービス提供が行えました

ウ 居宅介護支援事業所、関係機関と連携し、在宅生活の支援を行いました。



訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業 〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
訪問入浴介護南事業所	1,651,870 (△318,333)	14,755,080 (△2,663,001)	16,406,950 (△2,981,334)

訪問入浴介護南事業所

月	人	回数	月	人	回数
4月	31	108	10月	32	129
5月	30	120	11月	29	115
6月	31	108	12月	29	98
7月	31	119	1月	26	90
8月	29	111	2月	27	86
9月	28	102	3月	24	82
			合計	347 (平均28.91)	1,268

障害者（児）訪問入浴事業〔真庭市受託事業〕

利用者延べ件数 22件 (△51件) 〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担(円)	受託金(円)	合計
訪問入浴介護南事業所	27,500 (△37,500)	247,500 (△600,000)	275,000 (△637,500)

(3) 通所介護事業(介護予防通所介護事業を含む)

【目標】

利用者が可能な限り、住み慣れた自宅で自立した日常生活ができるように、心身機能の維持向上、孤独感の解消と家族の介護負担の軽減を図ります。

ア 多様化する利用者の各心身症状への対応力の向上と事故防止を目指します。

(ア) 送迎時の安全と安心のための職員教育を行います。

(イ) 毎日の車輛・室内及び入浴設備の安全点検を行い、事故防止に努めます。

(ウ) 各研修会への参加、個人目標の作成により職員の質の向上に努めます。

(エ) 増加・多様化する認知症への理解を深め、ご本人やご家族に信頼の得られる関係性を構築します。

(オ) 地域密着型の事業所として、地域住民の代表や利用者家族等による運営推進会議を開催します。地域の各ボランティア団体や関係者との連携を継続し、地域にあって良かったと思われる事業所を目指します。

イ 生活機能の維持向上に目標をおいたサービスを提供します。

楽しく自然に取り組める体操やレクリエーションを実施します。

ウ 身体機能低下予防、免疫力維持向上のため口腔ケアを継続して行います。

【実績】

利用者実績年間延べ3,347人。前年度比148人減。1日の利用者数は平均11.39人と前年度より0.53人の減でした。減の理由としては、転倒や体調不良などによる入院、本人の

都合によるお休みなどです。

ア 毎日の朝礼・夕礼により職員間の情報共有を確認し、日々変化する利用者の状態に応じたサービス提供を実施しました。

(ア) 送迎時も職員間で声かけ確認を行いながら、事故防止に努めました。

(イ) 車輜・室内設備に関しては、使用前に点検・確認を行い、事故防止に努めました。

(ウ) 部署として、個人としてのレベルアップを踏まえた目標を設定し、それに基づいた日々のサービス提供に努めました。

(エ) 個々によって異なる認知症状を職員間で共有し、理解することで、ご本人やご家族に安心してサービスを利用いただいています。

(オ) 地域の方や関係機関との連携強化を心がけ、ボランティアの受入も継続して行いました。

イ 在宅で過ごす利用者の日常生活動作に関する体操やレクリエーションを行うことにより、実際に可動域が広がった利用者もおられました。

ウ 全身疾患に影響する口腔機能の維持を目指した口腔体操を行い、食後の口腔ケアにより、保清にも努めました。

通所介護（介護予防通所介護）事業

〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
通所介護湯原事業所	4,698,985 (△197,324)	21,667,195 (△1,179,386)	26,366,180 (△1,376,710)

通所介護（介護予防通所介護）事業 実人数平均 42 人 延べ実人数 3,347 人

月	実人数	延べ人数	月	実人数	延べ人数
4月	42	302	10月	43	310
5月	39	265	11月	44	273
6月	40	287	12月	43	262
7月	43	262	1月	41	255
8月	43	313	2月	39	252
9月	45	283	3月	42	283
			合計	504 (平均 42.00)	3,347

#### (4) 短期入所生活介護事業（介護予防短期入所生活介護事業を含む）

##### 【目標】

介護者の介護負担の軽減を図り、利用者が自立した日常生活が送れるよう適切なサービスを提供します。

ア 在宅で安定した生活ができるよう、生活習慣の習得や心身機能の維持向上につながるサービスの提供を行います。

イ 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

ウ 他の事業所との連携を強化し、適切な個別対応を行います。

## 【実績】

前年度の空床日数は183日、今年度は289日でした。稼動実績80.2%で、前年度より7.2%減少していますが、利用者の生活歴や病歴を考慮し、身体状況に合わせたサービス提供を行い、心身機能の維持に努めました。

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業 〈( )は前年度対比〉

事業所名	利用者負担 (円)	介護報酬 (円)	合 計
短期入所生活介護事業所	3,506,594 (△357,865)	8,273,226 (△273,740)	11,779,820 (△631,605)

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業

月	延べ人数	月	延べ人数
4月	98	10月	99
5月	91	11月	90
6月	105	12月	97
7月	104	1月	95
8月	109	2月	86
9月	105	3月	102
	合 計		1,181

## (5) 地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)

### 【目標】

#### ア 運営の基本方針

- (ア) 入所者の尊厳を守り、穏やかに楽しく生活できるサービスの提供を実施します。
- (イ) 地域密着型介護老人福祉施設として、地域住民の代表、利用者及び家族等による運営推進会議を開催し、地域住民の意見を運営に反映させていきます。
- (ウ) 運営推進委員会を中心として、地域住民・ボランティアとの交流を推進します。

#### イ 組織管理

- (ア) 利用者本位の施設運営に心がけます。
- (イ) 協力病院、協力歯科医院との連携強化により入所者の健康維持を図ります。
- (ウ) 個人としてだけでなく、チームとしての介護技術の向上を目指します。
- (エ) 年間研修計画により認知症及び重度化に対応のできる職員の育成を行います。
- (オ) 運営推進会議等の意見を取り入れ、効率のよい運営方法を検討していきます。

#### ウ 安全管理及び防火管理

- (ア) 感染予防等各種職員研修を実施し、施設の健全管理に努めます。
- (イ) 腰痛予防を意識した介護方法の実践を行います。
- (ウ) 施設管理責任者を配置するとともに防火管理者を併せて配置し、防火設備点検等を行います。
- (エ) 火災時の避難訓練のほかに、施設所在地の地理的実情を踏まえた、自然災害に対する避難計画の策定を行います。

**【実績】**

平成 30 年度の入退所者は各 4 名で、退所から入所までの日数は 68 日。入所者の入院日数は 514 日で、空床日数は計 582 日。利用率は 90.03%でした。前年度の空床日数は 215 日でしたので、利用率は 6.28%減少しました。

ア 運営推進委員、来訪者等を対象にやすらぎの評価アンケートを行いました。湯原ボランティアの会には月行事などで入所者とのコミュニケーションや車いす移動のお手伝いをしていただいています。また、湯本温泉館からタオルや、湯原ボランティアの会からは不要布をカットしたものをいただき、おしりふき等に活用しています。

イ 年間研修計画において、「高齢者虐待」「口腔ケア」「認知症」について外部研修を計画し、受講した職員が講師役となって内部職員研修を行い、介護技術等の向上に努めました。

ウ 感染予防の職員研修を年 2 回、火災想定のお知らせ、避難、消火訓練を年 2 回行いました。また自然災害時の避難・応急対策計画を作成しました。

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ) <( ) は前年度対比>

事業所名	利用者負担 (円)	介護報酬 (円)	合計
特別養護老人ホーム 「やすらぎ」	13,970,926 (△974,780)	44,991,600 (△1,131,857)	58,962,526 (△2,106,637)

地域密着型介護老人福祉施設利用者数(特別養護老人ホームやすらぎ)

月	延べ人数	月	延べ人数
4 月	437	10 月	453
5 月	446	11 月	467
6 月	417	12 月	447
7 月	462	1 月	438
8 月	437	2 月	401
9 月	388	3 月	465
		合 計	5,258

**(6) 居宅介護支援事業、(介護予防支援事業[真庭市受託事業]を含む)**

**【目標】**

介護保険の認定を受けた利用者が、可能な限り自宅で自立して日常生活を送ることができるよう、多職種と連携しながら、最適な支援計画を作成します。

ア 年間研修計画及び個人目標により自己研鑽・自己啓発に努めます。

イ 利用者理解と接遇力、相談援助技術の向上を図ります。

ウ 地域包括ケアにおいて積極的に役割を推進し、医療・介護事業所との連携強化に努めます。

エ 特定事業所加算の算定要件や管理者要件に主任介護支援専門員の配置が必須であるため、受講資格を満たすものは受講できるよう体制を整えます。

**【実績】**

- ア 年間研修計画や個人目標に基づいて各種研修会へ参加し、各自の知識向上・研鑽に努めました。
- イ 利用者及び家族の話を傾聴し寄り添い、その望む生活の実現のために、相談や助言を行い、迅速で適切なサービスの提供や対応に努めました。
- ウ 各地域ケア会議へ参加し、地域のニーズの発見や情報収集に努めました。
- エ 北・南事業所とも管理者は主任介護支援専門員の資格を保持しています。今年度は主任介護支援専門員の受講要件を満たすものがいまありませんでしたが、各自必要な研修に積極的に受講できました。

**居宅介護支援事業**

〈上段居宅介護支援事業 下段介護予防マネジメント ( ) は前年度対比〉

事業所名	作成件数	居宅介護料 (円)
居宅介護支援南事業所	1,004(△4)	14,835,780( 183,140)
	88( 35)	361,590( 138,900)
居宅介護支援北事業所	1,127( △14)	18,078,450( △22,510)
	36( △8)	139,320( △33,960)
合 計	2,131(△18)	32,914,230( 160,630)
	124( 27)	500,910( 104,940)

介護支援専門員 南事業所 3名 北事業所 3名

**(7) 障害者(児)移動介助事業[真庭市受託事業]**

**【目標】**

歩行や車いすの介助、代読や代筆などのコミュニケーション支援などを通じて障がいのある人の自立と積極的な社会参加を促進します。

関係機関と連携し適切なプランに基づく支援を行います

**【実績】**

地域支援センター等と連携し、適切なサービス提供に努めました。

障害者(児)移動介助事業 ( ) は前年度対比

利用件数 南事業所 284件(±0件) 北事業所 0件(△24件)

事業所名	利用者負担金(円)	受託金(円)	合 計
南事業所	4,180 (△6,980)	1,243,820 ( 115,870)	1,248,000 ( 108,890)
北事業所	0 ( 0)	0 (△96,000)	0 (△96,000)
合 計	4,180 (△6,980)	1,243,820 ( 19,870)	1,248,000 ( 12,890)

**(8) 介護予防デイサービス事業・元気はつらつデイサービス事業[真庭市受託事業]**

**【目標】**

高齢者に外出の機会を提供し、孤立感の解消ができるよう支援します。

ア 交流の場を設けることで活動の機会を増やし、楽しい時間の提供をします。

イ 介護予防のための運動機能維持向上を目指し、意欲的に取り組めるプログラムを実施します。

**【実績】**

外出機会のない高齢者に交流の場を提供し、活動を支援しました。

ア 外出に楽しみを持っておられたので、実施日には多くのご利用がありました。

イ 在宅生活が継続できるよう、身体機能維持の体操やレクリエーションを実施しました。

元気はつらつデイサービス事業

利用者延べ回数 3,256回 (158回) <( )は前年度対比>

支所名	利用者延べ回数	金額 (円)
北房支所	1,211 ( 0)	3,984,190 ( 0)
湯原支所	57 ( 0)	187,530 ( 0)
中和支所	329 ( 38)	1,082,410 ( 125,020)
八束支所	1,031 ( △1)	3,391,990 ( △3,290)
川上支所	628 ( 121)	2,066,120 ( 398,090)
合 計	3,256 ( 158)	10,712,240 ( 519,820)

ささえあいデイサービス

利用者延べ回数 730回 (629回) <( )は前年度対比>

支所名	利用者延べ回数	利用者負担金	助成金額 (円)
北房支所	279 ( 204)	279,000 ( 204,000)	139,500 ( 102,000)
中和支所	69 ( 65)	75,900 ( 71,500)	34,500 ( 32,500)
八束支所	267 ( 258)	293,700 ( 283,800)	133,500 ( 129,000)
川上支所	115 ( 102)	126,500 ( 112,200)	57,500 ( 51,000)
合 計	730 ( 629)	775,100 ( 671,500)	365,000 ( 314,500)

**(9) 生活支援短期宿泊事業[真庭市受託事業]**

**【目標】**

地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の要望に応えられるプランにより、在宅での生活習慣の改善となるよう生活習慣と体調の管理調整を行います。

**【実績】**

利用者 2人

生活支援短期宿泊事業 <( )は前年度対比>

事業所名	人数	利用日数	金額 (円)
短期入所生活介護事業所 (特養やすらぎ)	2 ( 1)	9 ( 5)	58,050 ( 32,250)

**(10) 介護事業者として利用者への満足度調査の実施**

**【目標】**

訪問介護・訪問入浴介護・通所介護利用者へアンケート調査を実施し、サービスの改善に取り組みます。

【実績】

訪問介護事業所（南 60 人・北 30 人）・訪問入浴介護事業所（15 人）・通所介護事業所（20 人）の利用の方を無作為抽出で、本人または家族の方へ記入及び聞き取りのアンケート調査を行いました。回収率は訪問介護 98%、訪問入浴 100%、通所介護 80%でした。多くはほぼ満足という回答でしたが、ご意見の中から、より一層の介護技術及び接遇等、資質向上の必要性が見受けられました。

